

FUKUOKA DESIGN AWARD 2025

FUKUOKA DESIGN AWARD 2025

受賞商品集



受賞商品集

福岡県産業デザイン協議会・福岡県



FUKUOKA DESIGN AWARD

福岡デザインアワード
シンボルマーク
デザインの（D）に翼をつけた
福岡の（ふ）が世界に羽ばたく
姿を、そして、（ふ）に架けた虹
が未来を表すシンボルマーク。
商品とデザイン、人と社会のバ
ランスを大切にしたいという
強いメッセージが込められて
います。



地域には、魅力的な商品がたくさんあります。伝統や自然との共生から生まれる革新的なデザイン。美しさを裏付ける確かな手わざや技術力。それらが調和し、一体となった優れた商品たち。

そんな商品デザインに光を当てるのが福岡デザインアワード（FDA）です。FDAをきっかけに、みんながより高みを目指し、そこから生まれたヒラメキがビジネスや地域を輝かせる。

地域から世界へデザインを羽ばたかせたい、デザインのさらなる未来に虹を架けたい。そんなデザインアワードを目指し続けています。



デザインの可能性を広げる
5つの評価項目

FDAはスローガン「グッドデザイン・イズ・グッドビジネス」に加えて「デザインの可能性を広げる5つの評価項目」を設けています。それらが互いに関連し、相乗効果をもたらすデザインを審査・表彰いたします。

Good Design is Good Business.



試行錯誤のうえ、たどり着いた
究極の「ひねり」のデザイン。

新たな時代の機能美を
予感させるデザイン

食卓に置かれたオブジェのよう
な美しい佇まいのバターナイ
フだ。右利き用は桜材、左利き用
は色の違うウォールナットを削
り出して作られている。四角柱
をひねったような形は、持ち手
とバターを塗るナイフ面を流れ
るように繋ぎながら同時に機能
を分けている。自立させるため
の重心の置き方、持ち手とナイ
フ面のプロポーションとフォル
ム、自然の木材から無駄なく形
を取り出し加工する手作業の全
ての工程を繰り返し検討するこ
とから生まれた美しさと機能性
が自然に融合した見事なプロダ
クトだ。「機能美」と言えばその
通りだが、この小さなプロダク
トには、便利さと生産効率をひ
たすら追求する大量生産を前提
とした従来の「機能美」を超える
本質的な機能美がある。「形態は

機能に従う」という従来の機能

主義の美意識から、機能と形態
が主従の関係を超えて融合し、
さらにものづくりを支える人の
手の技術が一体となった人間味
のある美意識への転換を予感さ
せる。

パッケージも、魅力的なプロ
ポーションとサイズ感を備えた
洗練されたデザインで、プレゼ
ント需要も含めた市場性も期待
される。

福岡デザインアワードの評価
項目となっている「造形性」「独
自性」「機能性」「市場性」「社会
性」の全てが高い水準で具現化
された、2025年の大賞に相
応しいデザインである。

審査委員長

池田美奈子

Editor and Designer

編集者・デザイン研究者
九州大学客員教授



Wing

バターナイフ ¥2,200

株式会社Ficus (SALAK)

https://www.instagram.com/studio_salak/



● 公開審査時の「株式会社Ficus」のテーブル。
● 審査委員に説明している森崎湧斗さん。



● 服部福岡県知事より賞状を受け取る様子。
● 大賞受賞後にあいさつをする湧斗さん。

作り続けたいのは、
美しさと機能性を兼ね備えた、
普通の暮らしに溶け込む作品。
そこに自分だからこそできる
デザインを追求したい。



福津市の海岸沿い、のどかな田園風景の一角にあらわれるカフェのようなおしゃれな佇まいの古民家。廃墟となっていた牛舎を自ら改装したというこの空間こそが、暮らしの手彫り木工ブランド「SALAK(サラク)」のスタジオです。工房と隣接するギャラリーでは、今回の大賞作品であるバターナイフ「Wings(ウイング)」をはじめ、器やお皿、花瓶などの木工作品が並べられています。定期的に、木工のワークショップなども開催されています。

木工作家のスタジオというと、「アート作品が並んでいて少し敷居が高い」というイメージもありましたが、外観と同じく室内も心地よい雰囲気に含まれた空間。インタビュー中に何度

も語ってくれた「美しさと機能性を兼ね備えながら、普通の暮らしに溶け込むものを作りたい」という想いが、まさに詰まっている場所でした。

今回の受賞作品のことから、木工作家としてのこだわりまで、森崎湧斗さんにお聞きしてみました。

自分らしい デザインの軸を模索して

画家だった祖父の影響を受けて、高校生の頃から「美術大学へ進学したい」という思いをぼんやり抱いていました。その思いの解像度が高まったのが、ある家具メーカーで出会った「美しいカーブをもつ椅子」との出会い

です。それから木工に目覚め、進路として目指したのが富山大学です。富山大学は、かつて職人養成を行っていた高岡短期大学を統合したことで、工芸を本格的に学べる環境が充実しています。数ある美術大学の中でも木工に特化した学びが得られる大学として知られています。

授業もユニークな内容が多く、木工の基礎の基礎として「道具となる刃物」をつくるような学びもありました。上手ではなかったものの自ら刃物をつくる経験は、「木を削った時に刃物のカーブがどう生きるのか」といった理解を深めてくれたように思います。学生時代にタイに留学した際には、愛用していた刃物類をタイ国内へ持ち込めなかったため、授業の経験を活か

し現地で道具をセルフメイドすることで、作品をつくり続けることができました。

タイへの留学は、「自分らしいデザインの軸」や「彫刻としての美術的なデザイン」を模索していた時期でした。留学先としては、家具を専門的に学べるスウェーデンも候補にありましたが、当時から家具よりも「暮らしの日常で使われる道具」をつくりたい思いがあったので、あえてタイを選びました。寺院の装飾も盛んで、フルーツのカービングなども広く親しまれているタイでは、彫刻を楽しむ文化が根付いています。同級生たちの技術もかなり高く、刺激的でしたが、それ以上に、楽しく制作することを学ぶ大切な時間になりました。



- 牛舎を改装したギャラリーの外観。
- ギャラリーに隣接した工房。
- 大学の卒業制作の作品「波打つ」
- 留学したタイでの日々の作業風景。



どんなに小さな端材でも
無駄なく活用したい。

もつとデザインを
発表できる場を求めて
福岡へ

大学卒業すると同時に、「暮らしの道具」をつくる木工作家として歩みを始めました。家具づくりにも興味はありましたが、材料の調達や設備、工房の広さなど考えるとハードルが高い。かといって彫刻のアーティストになることも目指していなかった。ノミがひとつあればできる。生活の道具をつくる道へと、必然的に進路が絞れました。

しばらくは、そのまま富山で小さな小屋を借りて修行を続けました。しかし、暖房もない厳しい寒さの中で制作する日々は過酷で、途中で心が折れそうになることもありました。

そんななか、「もつとデザイン」を発表できる場を求めて、地元である福岡へ帰郷。2019年に木工ブランド「SALAK」(サラク)を立ち上げました。タイ語で「木を彫る」という意味をもつ「SALAK」。日本語に置き換えるなら、「皿を作る職人」という意味の「皿工(サラク)」的なニュアンス

も含まれています。

家具ほど大掛かりな設備は必要ないとはいえ、木工作業は木を切る音も出るし、それなりの設備も必要です。そんな場を探している時に出会ったのが、この海辺の小さな集落にある元牛舎。セルフリノベーションで、工房とギャラリーを備えたスタジオオとして完成させました。早い日は朝5時には出社して、ここで黙々と作品制作と向き合っています。

工房は決して広くはありませんが、自分が使いやすいように、収納にいろいろと工夫を凝らしています。ただ、木材を削って端材が出るとつい「まだ使えるのでは？」と思ってしまい、捨てられない木材がたまっていくのが目下の悩みです。

バターナイフ「Wing」の制作にも、桜やウォールナットの端材を活用しています。とても質の良い一枚板でも、どうしても端材は出てしまうので、それを無駄なく活用したいという思いも根底にありました。

カトラリーやランプシェード、プレスレット、箸置きなど、たくさんの商品がギャラリー内に陳列されている。

実は、バターナイフの原型的なもの、学生時代から試作をしていました。今のものとは随分カタチが違いますが、「柔らかなカーブ」を意識していた点は当時から変わりません。

今回、大賞を受賞したバターナイフには、さまざまな想いを込めて「Wings」と名前を付けています。試作を繰り返し返してカタチが完成した瞬間には、防塵マスクを付けていましたが、思わずマスクの奥で「うおおー」と雄叫びをあげるほど嬉しかったです。自分の中で思い描いていた「機能とデザインの調和」が、完全に一致した手応えがあった瞬間です。

正面から見たときの美しさだけでなく、表から後ろへ流れるカーブ、後ろから前へと流れるカーブ、そのいずれもが美しい。手にとったときの握りやすさには徹底してこだわりましたし、テーブルの上にスッと立ち上がる姿には彫刻的な造形も込めました。バターをすくって、塗るといった動作がしやすくなることはもちろん、口に触れる可能性も考え安全性にも配慮しています。デザインとしての美しさと、

とつと木と向き合いながら、最適な形を探るように作業を進めています。

節がある場合には、その節をあえてデザインとして活かすこともありますし、少し柔らかめのウォールナットであれば「1ミリだけ厚みを変えてみる」といった調整も行います。人の手による制作だからこそ、同じ型を使っていても、一つとして同じものはない——そんな個性が自然と生まれます。

量産では 生み出しづらいカタチや 工程にこだわって

何でも安く手に入る時代に、あえて手で作る。だからこそ、量産では生み出しづらいカタチにこだわることが大切だと思っています。そのためにも、カーブの表現や左右非対称のデザインなど、手仕事ならではの造形を追求していきたいです。

心がけているのが、かっこよさに引っぱられないということ。あくまでも生活の中で使われる道具であることを意識し、

福岡市中央区にある和食店「お菜」でSALAKの皿が使用されている。



福岡市城南区にある雑貨店「mohimaru」の企画展の時の一輪挿し。



思い描いた
機能とデザインが
完全に調和した
バターナイフ「Wings」

道具としての機能性、その両方がひとつのカタチとして一致した手応えを強く感じられる作品になりました。

カトラリーは、量産品でも安くついでいいものが数多くあります。その中で、あえて自分の作品を選んでもらうには、「彫刻的な造形」を取り入れることが必要だと考えていました。ただし、過度にこねくりまわすのではなく、機能とあいまったほどよい美しさが必要だと考えています。今回のバターナイフは、まさにその考えがひとつのカタチとなって現れた瞬間でした。

福岡デザインアワードの応募に際し、「このバターナイフのどこが良いのか」を言葉にしているプロセスは、自分の中でぼんやりと描いていた考えをクリアに整理する時間にもなり、とても良い経験でした。

日々の制作では、まず雛形となる定規(型)に沿って、端材をざっくりと荒く削り出すところから始まります。ここで大切なのは、木それぞれの特徴を見極めることです。材によって、気持ちよく削れる部分や木目の表情は異なります。そのため、一つひ

日常に自然と溶け込むものをつくり続けたい——その姿勢をこれからも大切にしていきたいと思っています。

口コミでの人気が広まり、最近では飲食店から器やカトラリーの発注をいただく機会も増えてきました。そうした仕事で大切にしているのが、料理人の世界観と馴染むことです。料理人が人生をかけてつくる料理を主役に、その料理が最も美しく見えるデザインを考えています。ゆくゆくは、椅子やテーブルなど飲食店の内装をすべて手掛けられるような機会があれば挑戦したいです。料理人が考える世界観を、空間まるごと一緒にデザインできるブランドへと育てていきたいと思っています。

自分がつくり続けたいのは、自己表現のためのアートではなく、あくまでも人の生活の役に立つ作品です。そのうえで、自分にはできないデザインをこれから追求していきたいと考えています。また、日本の木材が持つ魅力をもっと広く伝えるためにも、いつかは自分の木工作品を海外にも届けられたらと思っています。



仕入れたばかりの木材を見ながら、作品のイメージを思案する湧斗さん。

金賞

非常時持出米
(わかめごはん)

三重北農業協同組合

Design: 杉山祐太

素朴なデザインは
非常時の緊張感を緩和する。



非常時持出米 (わかめごはん)

乾燥加工米110g 6缶セット¥5,020

三重北農業協同組合

<https://www.ja-town.com/shop/c/c255090/>



食材の魅力から出発した
非常食の美味しいデザイン

防災用品と言えば、極限状態を何とかしのぐための機能が最優先で、味や見た目の魅力などは後回しにされがちだ。しかし、この「非常時持出米」は、農業協同組合が地元、三重県産の米の美味しさを知ってもらいたいという動機から開発に着手し、伊勢湾産のわかめとともに地元の食材を前面に打ち出している。パッケージはアルミ缶で、福岡県の製造工場が独自の窒素充填技術を用いることで、乾燥剤を使用せずに風味の劣化を抑え8年間の長期保存を可能にし

た。紙製スリーブケースは缶に被せただけのシンプルな構造で、断熱効果と廃棄時の分別に配慮し、ご飯の美味しさを伝える落ち着いたグラフィックデザインが施された。気配りのあるデザインと地域の誇る食材で作られたご飯は質素ながらも温かみがあり、厳しい状況に置かれた人々の心を和ませるだろう。

審査委員長

池田 美奈子

Edit and Design

編集者・デザイン研究者
九州大学客員教授

受賞者のコメント

三重北農業協同組合 杉山祐太

非常時こそ、美味しいご飯を

辛い時や、大変な状況でも食べなきゃならない、そんな時に美味しいご飯が食べられたら、という思いから非常時持出米(わかめごはん)は生まれました。味や保存期間等の品質はもちろん、農協らしい素朴さを感じられるパッケージデザインにもこだわりました。

今回金賞という目に見える結果を頂いたことで、今までの道程は間違っていなかったと安心すると同時に誇りとなりました。

今後、試行錯誤しながら、初心を忘れず頑張ります！



公開審査にて、審査委員に説明する杉山祐太さん。

金賞

ふぐひれ

柳井商店

Design: 福田まや

愛らしいふぐのデザインで

柳井商店の

アイコンニツクな存在に。



福を広げるデザイン 価値を再構築して販路拡大

大分県と愛媛県に挟まれる好漁場、豊後水道。そこで育った「とらふぐ」を専門に扱う柳井商店が作った「ふぐひれ」のお土産品。産地だから出来ることを強みに、全国の料亭や市場へ身欠きフグなどを届けている。

大量のフグを扱うため当然ヒレが得られるが、焼きヒレは主な商材ではなくひれ酒を好む一部の方に楽しまれていた。このヒレを広く、特に若い方へ届けやすく、パッケージなどを見直し、お酒以外の味わい方を解説した説明書を盛り込み魅力を伝

えている。地元学生バイトの個性が生かされる不揃いなパッケージも魅力的な演出になり、お土産物店だけでなく雑貨屋さんにも並ぶ姿が想像できる。

商品価値を再構築しマーケットを変えた良い例であり、社内意識の変化など副次的な効果もあった。各地域の生産者が抱える同種の課題にも参考となる取り組みである。

審査委員

春口 丞悟

株式会社うなぎの寝床
取締役/バイヤー

受賞者のコメント

柳井商店 柳井太一

大分・豊後水道のとらふぐの
おいしさを全国にお届けしたい。

大分県佐伯市に拠点を置くとらふぐ専門店、1981年に創業しました。豊後水道で育まれた高品質なとらふぐを扱い、「完全生」の極上セットや、特殊冷凍技術でおいしさそのままの「とらふぐ刺し」や「とらふぐちり鍋」などを全国へ通販しています。養殖から加工まで徹底した品質管理にこだわり、日々美味しいとらふぐをお届けしております。今回受賞させていただいた「ふぐひれ」のちびふぐたちが全国に広がり、大分県のとらふぐを知っていただけるきっかけになると嬉しいです。



公開審査にて、審査委員に説明する福田まやさん。

とらふぐを扱う柳井商店の柳井太一さん。

ふぐひれ

とらふぐ焼きひれ(2枚入り) オープン価格

柳井商店

<https://fugunoyanai.com/i/112>



金賞

てっぺんつみき

つみきや

Design: 原田圭悟

積み上げるシンプルな遊びが
人と人の気持ちをつなぐ。

てっぺんつみき

20枚入り ¥9,900

つみきや
<https://tsumikiya.jp/>



九州から、世界へ 挑戦が生んだ、究極のかたち

「てっぺんつみき」は、ギネス世界記録への挑戦過程で生まれた、高さ積みの特化した積み木である。見た目はシンプルな板状だが、12×24×96mmという比率には、何年もの試行錯誤を経た導き出した、高さ積みの最適解が込められている。素材には福岡県産ヒノキを採用し、軽量でありながら高い強度を確保。香りや手ざわりの良さも特徴である。寸法精度は極めて重要で、わずかな誤差が積み上げの安定性に影響するため、加工には高度な技術が求められる。最終工程は佐賀少年刑務所で行い、地

域社会への貢献を実現している

点も評価した。もちろん、この積み木は高さを競うだけのものではない。0歳児から大人まで一緒に遊べる玩具である。想像力を膨らませシンプルな木片を積み上げ、崩し、また新しい形を作る—その繰り返しは、すべての創作の原点だと感じた。単なる玩具ではなく、挑戦心と地域文化を体現するプロダクトとして高く評価した。

審査委員 山田 彰

株式会社九州博覧堂
エグゼクティブ
クリエイティブディレクター

受賞者のコメント てっぺんつみきの物語を 広く知ってもらいたい。

つみきや 原田圭悟

積み木の高さ積み世界記録への挑戦をきっかけに開発したこの積み木は、高く積みやすいことこだわった積み木です。高く積みやすかったおかげで、赤ちゃんからシニアの方まで色々な人がそれぞれの楽しみ方を見つけてやすく、イベントの依頼も多くいただくことになりました。

光栄な受賞をきっかけに、挑戦の過程にあるこの積み木の物語に多くの人に関わってもらえたら嬉しいです。



金賞

TOFT

ワイドレジャー

Design:
郡 洋一/酒井 嵩人

客のコレクター心を揺さぶる
チャーミングなデザイン。



TOFT (トフト)

1 PLAY100円 (クレーンゲーム景品につき)

ワイドレジャー

[https://www.instagram.com/toft_jp_?
igsh=M2dubnk1ZnlwenVI](https://www.instagram.com/toft_jp_?igsh=M2dubnk1ZnlwenVI)



可愛くて集めたくなる 次世代型クレーンゲーム

FASHION・ART・TOYを
インスピレーションにし、これ
までゲームセンターに來なかつ
たようなファッション感度の
高い層をターゲットに立ち上
げられた、クレーンゲーム発の
ファッションブランド。全国の
楽市楽座など80店舗のアミュー
ズメント施設でワイドレジャー
により展開されている。

生活に必須ではないが欲しく
なる、不思議で可愛いデザイン
とモフモフ感の非人形型ぬいぐ
るみが高く評価できた。

商品がクレーンから落ちる様
子までかわいくなるよう突き

詰めて設計された、正にデザイ
ンの勝利とも言えるグッズの
数々。あえて用途を限定せず、自
由に使い方をアレンジできるア
イテムにすることで、唯一無二
の存在に。毎年コンスタントに
新コレクションが出され、東京
では販売日にファンが店舗に列
を作る人気とのこと。

数量限定なのも客のコレク
ター心を揺さぶる素晴らしいア
イデアである。

審査委員 原田 浩司

株式会社千鳥饅頭總本舗
代表取締役社長

受賞者のコメント

SHUTO SAKAI DESIGN/CEKAI

酒井 嵩人

生活がちよびっと楽しくなる

TOFTは、『あると、ちよびっとたの
しくなる。』をテーマに、より多くの
方々に愛され、プレイスゲームの楽
しさを再認識してほしいという想い
をもとに、FASHION・ART・TOYS
要素を兼ね備えたソフトタイプブラン
ドとして展開しています。

今回賞をいただいたことで、TOFT
をより知っていたただける機会にな
り、嬉しく思います。今後も様々な仕
掛けで、皆さんに楽しんでもらえる
ブランドを展開していきたいと思っ
ています。



ぬかだき 炊き込みご飯の素

株式会社吉勝
Design: 榎並 憲二

北九州市を代表するソウルフード「ぬかだき」はイワシやサバなどの青魚をぬか床でじっくり煮込んだ郷土料理。創業120年の吉勝の社長は、「魚離れ」の危機感から、この郷土料理を次世代の方々にも伝えるべく、「炊き込みご飯の素」と新しいスタイルへ挑戦し、商品開発を行った。また、社員を巻き込んで商品のこだわりをわかり易くパッケージデザインで表現する事で「吉勝ブランド」を社員一丸となり発信する企業姿勢も評価に値する。

審査委員
石松 瑞樹
株式会社岩田屋三越 マネージャー

ぬかだき炊き込みご飯の素
各¥980

<https://yoshikatsukitakyus.wixsite.com/yoshikatsu>



銀賞

伝統を現代仕様に
アップグレード。

ショートペグハンマー ドワーフ

有限会社CACICA
Design: 魚住 謙介

キャンプ好きにはたまらないデザイン。見ると触れて握りたくなるデザイン。だが、デザイン以上に実用性が高い所も評価できた。このハンマーは、手のひらサイズのコンパクトさと、長いペグでも打てる力強さを兼ね備えており、長時間使っても疲れないグリップを実現。女性や子どもも楽しく打てるとのこと。専用ケースがあれば更なる展開も期待でき、楽しい商品だ。

審査委員
原田 浩司
株式会社千鳥饅頭総本舗 代表取締役社長

ショートペグハンマー ドワーフ
¥13,750
<https://ulysses.jp/?pid=186257158>



銀賞

誰でも使える
実用性のある
ペグハンマー。

米ノ座 二度焼バウムクーヘン

株式会社まさゆめざかゆめ・米ノ座
Design: 鶴見 京子

バウムクーヘンはドイツ語で「木のお菓子」という意味。山や森や木々など朝倉の豊かな自然に感謝し、日々つくられるこの二度焼バウムクーヘンは朝倉の大地の恵みを贅沢に使用。朝倉の米名人北嶋將治さんがつくる希少米「君不知」の米粉、朝倉の山あい植物性飼料のみで育てる森養鶏場の「喜八郎卵」など、朝倉のすぐれた食材への自信と誇りを感じる。その徹底ぶりにより米ノ座のバウムクーヘンは唯一無二の焼き菓子となる。

審査委員
澄川 達哉
株式会社阪急阪神百貨店
博多阪急ディビジョンマネージャー

米ノ座 二度焼バウムクーヘン
¥1,000
<https://komenoza.jp/>



銀賞

身体にも心にも
やさしいお菓子。

UOQDOG IROIRO

魚久精肉総本店
Design: 古庄 伸吾

歴史ある久留米にて長年愛されてきた精肉店の新しいチャレンジ。目を引くカラーやパッケージデザイン。純粋に食べてみたくなるビジュアル。歴史ある精肉店ならではの製品の安定感。特に背景のあるソーセージを昔ながら使用しつつ現代に嵌るビジュアルデザインと価格設定と申し分ない商品だ。これからもっと販路が増えていくことが期待できる。

審査委員
吉嗣 直恭
カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社
六本松蔦屋書店 雑貨コンシェルジュ

UOQDOG IROIRO
6本セット ¥7,500 等
<https://uoq.thebase.in/items/98199852>



銀賞

多彩なアレンジが可能
なホットドッグ。

Scapes ステンレス鉢

株式会社利兵衛
Design: 濱地 周三

ステンレス素材の持つ凛とした無機質な佇まいと、盆栽が宿す生命力に満ちた有機的な美が、この作品の中で見事に融合している。ステンレス面が反射する光や表情は、意外性と深遠な調和を同時に創り出し、日本文化の美意識を現代的に再構築している。先人たちが築き上げた伝統を重んじる盆栽の世界に、異なる次元から挑む意欲的な姿勢は評価に値する。新たな「美」の可能性を提示しようとする非常に美しいデザインであると言える。

審査委員
中島 浩二
西日本工業大学デザイン学部 教授

Scapes ステンレス鉢
¥18,700~
<https://scapesonlineshop.com/>



銀賞

植物の静かな力を
際立たせる、
直線的なフォルム。

810s EQUIPMENT

株式会社ムーンスター
Design: 柴田 将喜

150年以上の靴づくりの歴史の中で培われてきた技術を衰退させないように活用し、かつ靴に留まらない多様な製品展開によって新しい価値を生み出すこの試みは、製品や技術、企業そのものの総合力を高め、ファンの獲得に繋がっている。また、社内のみならず地域全体としてその価値を次世代に繋げていこうとする姿勢は、数々の困難を乗り越え今日まで歴史を紡いできた企業だからこそできる形であり、会社を象徴するプロジェクトである。

審査副委員長
廣嶋 まい
一般社団法人Design-DESIGN MUSEUM
理事

810s EQUIPMENT
¥800~

https://www.instagram.com/moonstar_810s?igsh=MWxueWhkdmZsdGk3bQ==



銀賞

技術を靴以外に応用したブランド。

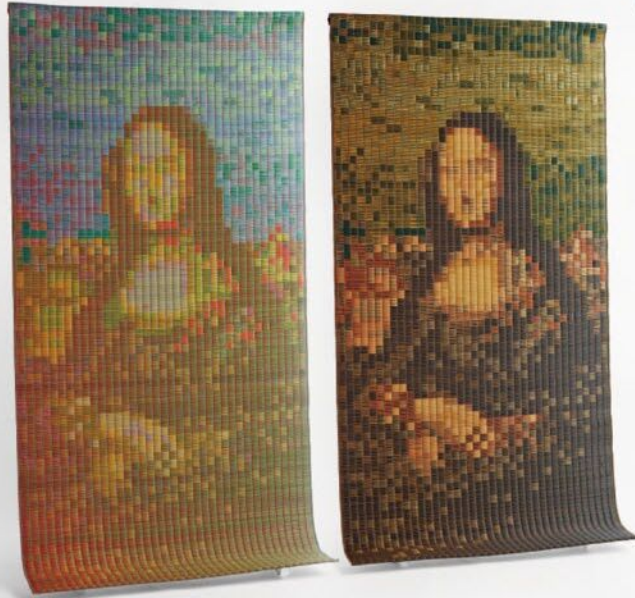
PIXEL WEAVE

Hana Material Design Laboratory
株式会社
Design: 光井 花

現代風にアレンジされたイグサのラグなどは、よく目にするが、イグサとアートとの融合により他にはないプロダクトに昇華されている。和洋を問わずインテリアに取り入れることができ、日本の伝統的な畳文化が世界中に広がっていくことがイメージできる逸品。やや高価ではあるが、その製作工程や仕上がりのクオリティを見れば納得だと思う。他にも同素材アイテムがあるようだが、個人的には玄関マットサイズができるとうれしい。

審査委員
永野 弥生
株式会社電通九州
シニアクリエイティブディレクター

PIXEL WEAVE
¥38,500
<https://hanalab.official.ec/items/102855905>



銀賞

ピクセル表現で
絵画のようなイグサ織。

鍛月

鍛冶工房弘光
Design: 小藤 宗相

「暮らし」とは美しいものだ。その「暮らし」と共にある日用品もまた美しい。本製品は一つ一つ手作りで、1日に三つ作るのが限界だという。その無骨ながら艶やかな姿に、作り手の、また料理をする人の顔が写し出されるようだ。結果としての形は、熱の伝わり方であったり、皿としての佇まいであったり、いずれも料理の上で効果的に働く。IH調理にも使えるという。刀鍛冶の技で作られたフライパンは人の手に自然と馴染むに違いない。

審査委員
下川 まさのり
公益社団法人日本グラフィックデザイン協会
福岡地区 代表

鍛月
各¥22,000~
<https://tangetsu.net/>



銀賞

個性と深みが、
日々の料理に
豊かさを添える。

<p>日ノ目スタチオ 朝倉産甘木染 開襟シャツ</p>  <p>朝倉産の藍を使用し、地域の工芸「甘木染」を現代に蘇らせた再興商品</p>	<p>宮田織物 YAYA</p>  <p>産地の見える服=YAYA 和木綿「SHIJIRA」で仕立てる</p>	<p>ワーキングハセガワ sukui スクラブ上下セット</p>  <p>人と環境を救う医療ウェア、救衣</p>	<p>The dining YOSA 八右衛門 (岩戸の塩入り)無添加八右衛門ポン酢</p>  <p>天然の素材から作られた無添加で身体に優しいポン酢</p>	<p>HACO LiB 水郷やながわカントウチ</p>  <p>焙煎した柳川産アバラガスが味の決め手の焼菓子</p>
<p>プランニングマエダ 白糸の三年醤油</p>  <p>無農薬の大豆を生産し、杉の樽で2年半熟成させた醤油</p>	<p>八女伝統本玉露推進協議会販売部 八女伝統本玉露ボトリングティール YAME 桐箱付き</p>  <p>フランソワ・シャルティエ氏監修ボトリングティール</p>	<p>小竹町商工会 けたこのくずあひすキャンディー 「BLACK KETAKO」</p>  <p>真っ黒な響き！ 葛+小豆+竹炭の薬膳アイス</p>	<p>JIMOS ゆき肌豆乳ゼラート</p>  <p>国産大豆と湧き水でつくった「ゆき肌豆乳」を使った豆乳ゼラート</p>	<p>カカオ研究所 琥珀</p>  <p>伝統和菓子の技法とカカオハスティー・パルプ・フランポワーズの出逢い</p>
<p>創通メディカル AQUA QUTTO</p>  <p>お風呂に敷くだけ。簡単に骨盤底筋を鍛えるEMSトレーニングマシン</p>	<p>ゼラートアイランド スライディングボード「つばさ」</p>  <p>誰でも安心して使える、差し込みやすい移業支援ボード</p>	<p>bid bidスカルブラシ</p>  <p>硬すぎず柔らかすぎない 絶妙な弾力のブラシ</p>	<p>トレードレーベル haus Premium Hinoki Series</p>  <p>廃棄端材から抽出の精油を基にしたヘアケア・ボディケア等</p>	<p>王子全機 山折・やまおり・折火 Craft Fire Pit ORIBI 「折筒 Outdoor Bag ORITUTSU」</p>  <p>山での折(時の機会)をゆたかにする、九州・大分の町工場発アウトドアツール</p>
<p>TradeFKJapan Ra Le-Na</p>  <p>主婦500人と一緒に2年という歳月をかけて作ったストレスをなくすまな板</p>	<p>測上熔接 Primina</p>  <p>エンドピンを要する楽器の音色を飛躍的に向上</p>	<p>SING GLACCO</p>  <p>ワイングラスにもお猪口にも変形するシリコン製の酒器</p>	<p>榎本商店 PLAY METAL INCENSE HOLDER</p>  <p>折り紙のような美しさでお香の薫とした世界を表現する新しいお香立ての形</p>	<p>一龍木工 BOOKMARKER</p>  <p>読書をした人に寄り添う「茶となる家具」</p>
<p>九州鉄道機器製造 組立式レールブックエンド</p>  <p>本物のレールを使用したブックエンド</p>	<p>ミマツ工芸 NENRIN LAMP SHADE</p>  <p>一本の杉の年輪をモチーフの NENRIN プロダクトのランプシェード</p>	<p>OKAWA FACTORIA MOKUNOS</p>  <p>子ども大人も安心して過ごせるユニットタイプの木製キッズスペース</p>	<p>乗富鉄工所 PLUST</p>  <p>設置が軽やかなのに倒れにくい 屋外対応プランターカバー</p>	<p>たかやま ジャバニフ JSシリーズ</p>  <p>身近な木材から永く愛される家具を作りたい。そんな想いから生まれた「ジャバニフ」</p>
<p>ヤリヤ家具店 ecl table</p>  <p>天板の大きさを4人用から8人用に伸長できる丸型のダイニングテーブル</p>	<p>石橋鉄工所 OKURIMON</p>  <p>柳川の伝統的なつるし飾り「さげもん」をステンレスで表現</p>	<p>THE・DOORS WEE LITTLE</p>  <p>使い方が変化する 子供用テーブル & チェア</p>	<p>MODANIS モダニス・ バンブーインテリアパネル</p>  <p>和洋を問わず高級空間に調和する、竹林再生のデザインパネル</p>	<p>大坪GSI アップサイクルブランド 「GURURI」</p>  <p>「いらぬい」を「いいぬ」に。資源をぐるりと巡らせるアップサイクルブランド</p>
<p>吉村デザイン工房 雨水簡易集水ネット 防災雨葉</p>  <p>水に困っている人を助けたいという思いで開発した雨水集水ネット</p>	<p>うきはの宝 ばあちゃんビジネス</p>  <p>「生きがい」と「収入」を創り健康寿命を伸ばすビジネスの仕組み</p>	<p>piace 【メイクで彩るおでかけプラン】 お出かけメイク&同行撮影/2時間コース</p>  <p>プロの手で美しくメイクアップ。幸せなひとときを写真に刻む</p>	<p>西日本工業大学 光る魔法の森公園プロジェクト</p>  <p>デザインxIoTによる魔法の光、Z世代主導の地域活性化プロジェクト</p>	<p>コンダクト 「絵本」と「木の彫刻」を活用したアートギャラリーの開設</p>  <p>本社ビル2階にギャラリーを開設し、イベントを開催</p>

SHOOTOOLS シリーズ

株式会社増田桐箱店
Design: 小嶋 健一

仕舞う桐箱から魅せる桐箱への発想転換と同時にBtoBへ特化した商品構成。さらに商業空間で起こりうる問題・ニーズを先回りの押しえた膨大な商品群を秀逸なディテールで「鬱陶しくなく」まとめ上げたデザイン力は見事であった。特に独自の寸法体系により様々なサイズ・形状の桐箱をスタッキング・ネスティングした際の収まりの良さは、ユーザーに「使いたいと思わせる」魅力を持った、まさに「SHOOTOOLS」である。

審査委員
高須 学
株式会社タカスガクデザイン
アンド アソシエイツ 代表取締役

SHOOTOOLS シリーズ
¥1,000~¥30,000
<https://kiribako.jp/>



銀賞

「魅せる」と「保管する」を両立した
店舗什器シリーズ。

地域と風土とアートを体験する
ローカルツーリズム

耶馬溪 山茶会

テンポラリー耶馬溪
Design: 福田 まや

九州も福岡一極化している中で地方ならではの良さを純粋に楽しめるコンテンツ、ここでしかできない体験、地域の方々との交流の場等、「地域循環共生圏を作る」というテーマ通りの内容。外から移住したディレクターの福田さんが地域の方々と共同で取り組み、まさに上記の言葉が具現化出来ていると思う。アートや音楽に関してもここでしか出来ない即興的な内容もとても興味がそえられる内容。もっともっと都心生活者に体験して欲しい内容だ。

審査委員
吉嗣 直恭
カルチャー・コンビニエンス・クラブ株式会社
六本松蔭屋書店 雑貨コンシェルジュ

耶馬溪 山茶会
入場無料
<https://tempoyabakei.com/>



銀賞

地域に伝わる
茶文化や発酵食文化を紡ぐ。

社会性や環境配慮、市場性、それらを機能させる 仕組みのデザインの定着。



Edit and Design 編集者・デザイン研究者
九州大学客員教授
池田 美奈子
審査委員長

2025年の福岡デザインアワードは、質・量ともに高水準のデザインが揃った。今年は、社会性や環境配慮、市場性、それらを機能させる仕組みのデザインが定着してきたように思う。その上で、受賞商品を見渡すと、いくつかの視点が見えてきた。

まず、「ビジネス」の視点。「TOFT」はクレイニングゲームの景品のデザインにファッション性とアート感覚を持ち込むことで、従来のゲームセンターの利用者とは異なる感度の高い客層を呼び込み文化を創出した。「ふぐひれ」は、雑貨のような可愛らしいパッケージデザインを導入することで、新しい販路を拓いた。これらは客層が固定化した商品分野にデザインで新風を吹き込み、価値を転換させた好事例だ。

次の視点は「領域を超えた発想と協働」だ。「非常時持出米」は三重県の農業協同組合が防災用

品に取り組み、従来にないアプローチで商品を開発した。また「耶馬溪山茶会」は、地域の自然や食材、人、風土などの文化体験を提供するローカルツーリズムのデザインで、多様な分野で活動する人々との協働が必要となる。

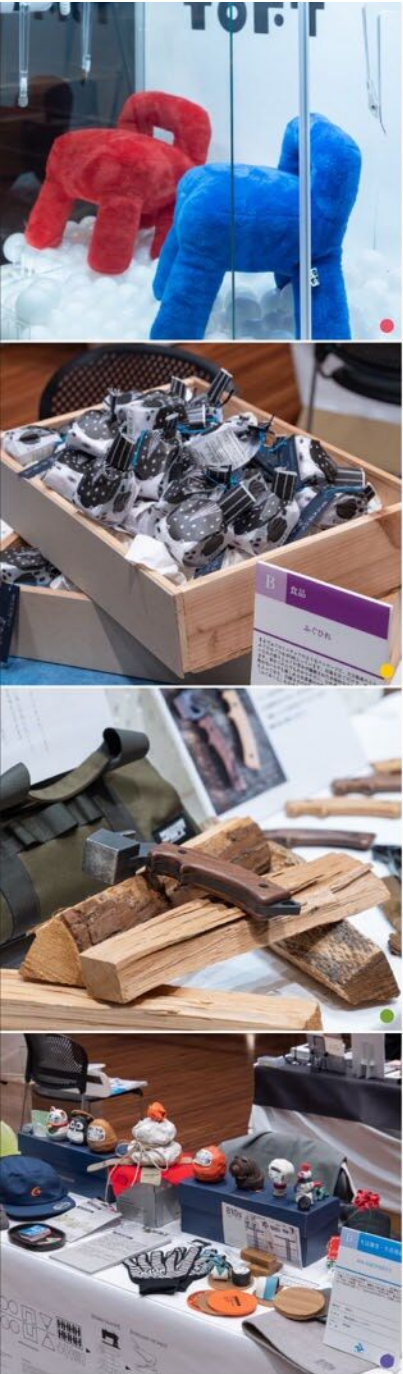
身長を超える大きな構造物を組み上げること、自由に造形することもできる。キャンプのテント張りに用いる「ショートペグハンマードワーフ」は、子どもでも安全に使えるデザインで、自然の中で自分の手を使ってやってみるアナログ体験を促す。

た靴づくりの技術や素材を靴以外の道具に応用した「810s EQUIPMENT」、現代の感性に合った盆栽を演出するステレンス製の植木鉢「Scapes」、刀鍛冶の熟練技を用いたフライパン「鍛月」、そして伝統食を現代のライフスタイルに合う形にデザインした「ぬかだき炊き込みご飯の素」など、伝統に向き合う独自のアプローチが目を見つけた。

だが、デザインの範囲が拡大する中で意識される場面が減っているように思われる。「SHOPTOOLS」はシステムティックで機能的な店舗什器、「TUODOG IKIROI」や「米ノ座二度焼バウムクーヘン」は一捻り加えたパッケージデザインが商品の魅力を消費者に伝える優れたコミュニケーションメディアとなっている。

最後は、あえて「美しさ」と機能性を挙げたい。時代を問わずデザインの本質的な専門性が

大賞に輝いた「Wing」は、上記の視点を高い水準で実現した美しく機能的で、かつ手仕事の知



- クレーンゲームの景品のデザインファッション性とアート感覚を入れた「TOFT」。
- 雑貨のような可愛らしいデザインで、新しい販路を拓いた「ふぐひれ」。
- 子どもでも安全に使えるデザインの「ショートペグハンマードワーフ」
- 靴づくりの技術や素材を靴以外の道具に応用した「810s EQUIPMENT」

デザインビジネスと社会をつなぐ 福岡デザインアワードとは？

デザインビジネスから生まれた魅力的な商品を発掘し、その成長をサポートする、“地域の未来を照らす”アワードです。たくさんの人に商品を届けたい。そんなあなたの一步を応援します。



受賞企業15社全員で記念撮影。大賞50万円、金賞5万円、銀賞1万円の賞金が贈呈された。



最終審査会当日は、多数の来場があり大盛況。商品に関する質問が飛び交い、活気あふれる時間となった。

有識者、デザイナー、流通関係者など様々な分野から集められた計12名の審査委員により、受賞商品が選出されます。受賞すると、専門家に認められたという箔が付くのはもちろん、福岡デザインアワードのロゴが使用できるなど、商談の際の強みに。また県が主体となってプレスリリースのほか、商品紹介動画や商品情報のホームページ掲載などを通じて、県内外へ商品の魅力を発信します。



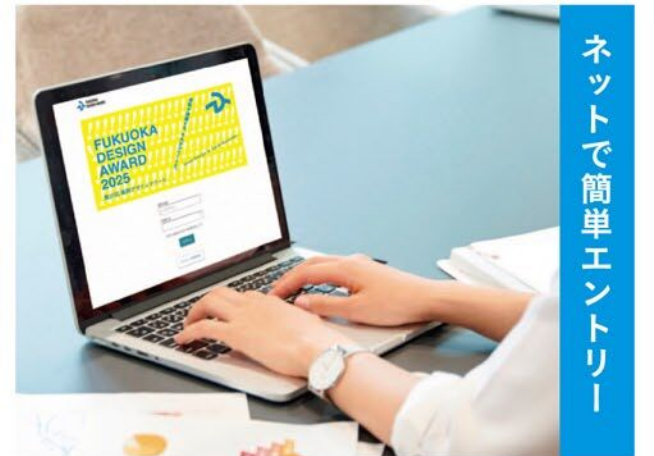
デザインを表舞台に

受賞商品は、JR博多駅を中心にデジタルサイネージや動画等により広くPRします。また、六本松 蔦屋書店での展示販売会で商品の良さを直接お届けするほか、大賞、金賞に輝いた商品は、クラウドファンディング制作支援により全国に発信するなど多方面から販路拡大をサポートします。審査委員の講評や大賞商品の制作秘話などを掲載した本受賞商品集は、販促ツールとして活用することができます。



ビジネスの販路拡大支援

出品することに意味があります。審査項目を入力する際に、自社商品の魅力を客観的に見つめブラッシュアップすることで、新たな魅力に気づくことも。そうして商品と向き合いながら完成したエントリーシートは、商品の魅力やコンセプトが一目でわかる販促ツールとして、商談の場でも活用できます。また、エントリーに費用はかからず、出品された商品には審査委員からの評価がもらえます。

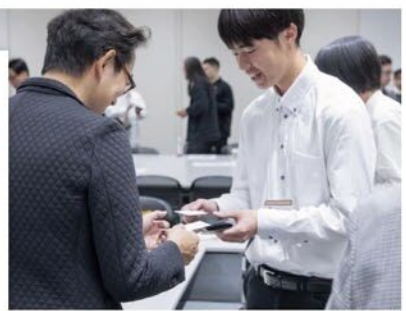


ネットで簡単エントリー

1次審査を通過したノミネート商品50点は、最終審査会場で一斉にお披露目されます。全国から集まったデザイナー性の優れた商品に触れ、多業種の企業やデザイナーと交流することで、新たなアイデアや自社の潜在的な可能性に気づくだけでなく、参加者同士の取組も実現していきます。審査会後には、ノミネート商品展示会が行われ、商品を広くPRする機会が用意されています。



デザインの価値を高める



商品開発にデザインを活かし ビジネスチャンスをつかんでいただきたい。

福岡デザインアワードは、優れたデザインを評価、発信するコンペティションです。今年で27回目を迎え、これまで3300件を上回る応募の中から770件を超える商品を表彰してまいりました。受賞をきっかけに、売り上げが3倍になった、新たな世代の新規顧客が増えたといった多くの声が届いています。

デザインは、商品のブランド価値を高め、他の商品と差別化することで売上を向上させる重要な要素です。デザインを活用した新商品や新サービスを開発していくうえで、見た目の美しさだけでなく、

ユーザーニーズや社会的な課題を的確に捉え、どのように解決していくかということが、高い付加価値に繋がります。

福岡県はデザインを学ぶ環境が充実しており、多数のデザイナーが活躍する全国有数のデザイン集積地です。この強みを生かして、皆さまにはこれからもデザインを活用した商品開発にチャレンジしていただき、大きなビジネスチャンスをつかんでいただくことを心から願っています。

福岡県では、皆さまの次なるチャレンジを全力で応援させていただきます。

福岡県知事
服部 誠太郎



第27回福岡デザインアワードには、全国187社から222件の応募をいただきました。昨年に引き続き過去最多を更新したことを大変うれしく思います。応募いただいた企業の皆さまに感謝申し上げます。

中小企業の皆様は、売上を向上させ発展していくためには、デザインの活用により、商品本来の機能とデザインを一体として商品の魅力を高めることが求められています。福岡県産業デザイン協議会では、産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携し、デザインを活用した商品企画・開発の促進やデザイン性に優れた商品の

販路開拓の推進に取り組んでいます。

その一端として、最終審査会に併せて、多業種の企業、デザイナーが交流できる場を設けました。参加者からは交流会を通じて、参加者の視野や知識、考え方が広がるだけでなく、参加者同士の輪が広がり、新たなビジネスにつながったという声もいただいています。

今後も、この福岡デザインアワードが福岡に留まることなく、全国の優れた産業デザインを競う場に発展していくよう取り組んでまいりますので、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

福岡県産業デザイン協議会 会長
(九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員)
古宮 洋二

デザイン性に優れた 商品の販路開拓の推進に 取り組んでいます。





第23回 2021

Titanium Spoon series
有限会社リナシメタリ

チタンの優れた特性を活かし、航空機や自動車向けの最新加工技術と匠の手による研磨仕上げによって、チタンの難加工性を克服。応募件数123件 (111社)



第18回 2016

博多水引ボトルリボン
有限会社ながさわ結納店

ワインボトルを華やかに飾る博多の伝統工芸「博多水引」のボトルリボン。伝統工芸の美しさを使い勝手のよさを融合させた卓越したデザイン。応募件数150件 (127社)



第14回 2012

柳川まめマヨ
柳川農業協同組合

柳川産大豆フクユタカの豆乳を原料としたマヨネーズ風ドレッシング。商材の魅力を伝えるネーミングやパッケージ、地域ビジネスの可能性のある商品。応募件数174件 (139社)



第10回 2008

TONBY
紙飛行機デザイン工房

世界初、折り紙の特殊効果用紙飛行機。単純な構造ながら安定した滑空を実現。大空に飛ばせるイベントツールとしての可能性がある商品。応募件数132件 (106社)



第6回 2004

DAIDABO
東木工株式会社

木製板材と箱で構成されたユニットによる組み合わせ収納家具。ライフスタイルに合わせて、使い勝手が工夫できる新しい型の家具。応募件数102件 (63社)



第1回 1999

フロートパッキング
株式会社コンドー・マシナリー

電子機器等の品物を発送する際の衝撃から守るために開発された梱包材。エコな素材、簡単で無駄のないデザイン。応募件数94件 (61社)



第24回 2022

mu
SEA you again プロジェクト

海洋ごみを無くすことにちなみ、「mu(ム)」と名付けられた。海洋プラゴミを「資源」として蘇らせ、価値あるものとしてアップサイクルされた石けんケース。応募件数120件 (98社)



第19回 2017

廃校活用事業「いいかねPalette」
株式会社BOOK

廃校を活用し永続的施設運営を可能にした地方創生プロジェクト。多彩に成長するビジネスモデルが評価。応募件数147件 (132社)



第15回 2013

Archi skin
株式会社マイサ

「建物を覆う皮膚」をコンセプトにアルミ製パネルで作られた建築資材。技術面や機能性、新しいビジネスの可能性を広げ、波及効果が大きい商品。応募件数145件 (124社)



第11回 2009

緑茶維新シリーズ T/BAG、T/POWDER
株式会社つじり

国産厳選茶葉の美味しさを手頃な価格で簡単に飲めるティーバックとティーパウダー。美味しいお茶を飲む感動というメッセージが明解。応募件数152件 (123社)



第7回 2005

ecopo
田川産業株式会社

漆喰土壁の特性を活かした焼かない植木鉢の手作りキット。実体験型の学習効果や植木鉢を作る喜びを表現したデザイン。応募件数100件 (67社)



第2回 2000

快歩主義KHS L002
株式会社アサヒコーポレーション

歩く楽しさ、快適さを追求して開発された高齢者向けの靴。機能性と造形性のバランスがとれたデザイン。応募件数108件 (90社)



第25回 2023

ふるさとズ
株式会社サンカクキカク

店舗型ふるさと納税®「ふるさとズ」は、現地に訪れた際の体験を通じて「現地で支払う費用」をそのままふるさと納税にできる仕組み。応募件数184件 (148社)



第20回 2018

一日20gの食習慣「西利乳酸菌ラブレ」
京つけもの西利

乳酸菌を使用した野菜の漬物。1週間分がワンパックになったデザイン、企画性、価格努力など、商品開発力の高い商品。応募件数130件 (122社)



第16回 2014

ぐっポス
独楽工房 隈本木工所

筆記姿勢をよくする教習具。県産材を用い高い技術と人間工学に基づいたデザインによって福岡発の思いやり商品として結実させた。応募件数189件 (155社)



第12回 2010

デザイナーズ防犯カメラ[PF-JT111]
株式会社日本防犯システム

ブランドショップなど多様な設置環境との調和を考慮した「み(見・魅)せる」防犯カメラ。最新技術と造形力が統合されたデザイン。応募件数139件 (117社)



第8回 2006

八女手漉き和紙 プリーツ加工紙
松尾和紙工房

半立体のプリーツ加工を施した八女手漉き和紙。平面表現に特化した和紙のあり方を一変させ、多様な生活シーンを創り出す。応募件数112件 (87社)



第3回 2001

Life-D
大川ライフデザイン研究所

11社の大川家具メーカーと福岡のデザイナー・建築家の異分野協働で生まれた家具。日本人の暮らしに寄り添った人にやさしいデザイン。応募件数65件 (57社)



第26回 2024

雪ふる山のおそぶき茶シリーズ
お茶の千代乃園

雪が降り積もる山間地の気候を活かして育てたオーガニックティーブランド。厳しい環境と生産者と消費者をつなぐコミュニケーションデザインが評価。応募件数217件 (174社)



第21回 2019

monaca stool シリーズ
株式会社 酒見椅子店。

和菓子の「最中」をモチーフに、日本古来の六花の華やぎを纏わせたスツール。令和に相応しい花の心をカタチにしたトータルデザイン。応募件数157件 (145社)



第17回 2015

アイスリットテープディスペンサー
福岡丸本株式会社

微細加工技術を用い、金属刃による課題を解決したテープディスペンサー。デザインや、産業連携の実証実験、社会への新たな提案力のある商品。応募件数165件 (145社)



第13回 2011

ヘアケアピュアローション「椿なの」、
「椿なのリペア」 株式会社オーラテック

界面活性剤を使用しない防腐剤無添加のヘアケアピュアローション。「ひとにやさしい」デザイン。応募件数162件 (136社)



第9回 2007

小倉織 縞縞 SHIMA-SHIMA
有限会社小倉クリエーション

途絶えた小倉織を復活させ、機械織により広幅化を実現した風呂敷。現代的な縞柄デザインを取り入れたクオリティの高い商品。応募件数100件 (79社)



第5回 2003

あんしんなタオル
宮原タオル株式会社

化学薬品を使わない、赤ちゃんからお年寄りまで安心して使えるタオル。商品説明も読みやすく処理された一貫したデザイン。応募件数80件 (62社)



主催 福岡県産業デザイン協議会・福岡県

協賛 九州旅客鉄道株式会社、九州電力株式会社、株式会社クラフティア、西部ガスホールディングス株式会社、TOTO株式会社、株式会社西日本シティ銀行、西日本鉄道株式会社、株式会社福岡銀行、福岡地所株式会社、株式会社安川電機(順不同)

後援 九州旅客鉄道株式会社、西日本鉄道株式会社、RKB毎日放送、NHK福岡放送局、FBS福岡放送、KBC、TNCテレビ西日本、テレQ、朝日新聞社、一般社団法人共同通信社福岡支社、産経新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、株式会社井筒屋、株式会社岩田屋三越、株式会社博多大丸、株式会社ハンズ博多店、麻生建築&デザイン専門学校、九州産業大学、九州大学、専門学校日本デザイナー学院、西日本工業大学、福岡デザイン専門学校、一般社団法人九州アートディレクターズクラブ、一般社団法人日本空間デザイン協会、北九州総合デザイナー協会、公益社団法人日本インダストリアルデザイン協会、公益社団法人日本インテリアデザイナー協会、公益社団法人日本グラフィックデザイン協会(JAGDA)、公益社団法人日本サインデザイン協会、公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会、公益社団法人日本パッケージデザイン協会、一般社団法人九州北部信用金庫協会、一般社団法人福岡県中小企業家同友会、公益財団法人福岡県中小企業振興センター、日本貿易振興機構(ジェトロ)福岡貿易情報センター、福岡県商工会議所連合会、福岡県商工会連合会、福岡県中小企業団体中央会、北九州地域中小企業支援協議会、筑後地域中小企業支援協議会、筑豊地域中小企業支援協議会、福岡地域中小企業支援協議会(順不同)

応募対象 日本国内に事業所等をおく、中小企業者又は小規模企業者等

応募資格 日本国内において製造または販売する商品・サービス等のうち、次の要件を満たしているもの。

- ① 反復生産が可能なもの(部品を含む)
- ② 概ね5年以内に開発されたもの
- ③ 現在販売中または今年度販売予定のもの

- 応募区分**
- A 衣料・アクセサリ / 衣服、バッグ、時計、貴金属など、身につけて使用するもの
 - B 食品 / 食材や製法にこだわった飲食に関するもの
 - C 健康・美容・福祉用品 / 健康グッズ、化粧品、医薬品、介護用品など身体に働きかけるもの
 - D 生活雑貨・生活用品 / 生活用品、文具、玩具など、主に手に取って使用するもの
 - E 家具・インテリア / 家具、畳など置いて使用するもの、照明、カーテンなど空間を構成するもの
 - F 産業・商業・公共空間機器 / OA機器、医療設備など事業活動や公共空間において使用するもの
 - G 情報・サービス / ソフトウェア、デジタルコンテンツなどサービスを提供するもの
 - H イベント・地域ビジネス / スポーツイベント、地域行事・催事に関するもの

会期 2025年10月30日(木)

9:30-11:30 最終審査 / 12:00-15:00 ノミネート商品展示会 / 15:00-16:00 授賞式

会場 JR九州ホール(福岡市博多区博多駅中央街1番1号 JR博多シティ9階)

審査委員長 池田 美奈子 Edit and Design 編集者・デザイン研究者 / 九州大学客員教授

副審査委員長 廣嶋 まい 一般社団法人Design-DESIGN MUSEUM 理事

審査委員 石松 瑞樹 株式会社岩田屋三越 マネージャー

下川 まさのり 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 福岡地区代表

澄川 達哉 株式会社阪急阪神百貨店 博多阪急 デビジョンマネージャー

高須 学 株式会社タカスガクデザイン アンド アソシエイツ 代表取締役

中島 浩二 西日本工業大学デザイン学部 教授

永野 弥生 株式会社電通九州 シニアクリエイティブディレクター

原田 浩司 株式会社千鳥饅頭総本舗 代表取締役社長

春口 丞悟 株式会社うなぎの寝床 取締役/バイヤー

山田 彰 株式会社九州博報堂 エグゼクティブディレクター

吉嗣 直恭 カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

六本松蔦屋書店 雑貨コンシェルジュ

福岡県産業デザイン協議会

設立 平成9年11月13日

産業界、デザイナー、行政等が緊密に連携して、デザインを活用した商品企画・開発の促進と、デザイン性に優れた商品の販路開拓を推進することにより、福岡県における産業デザインを振興し、福岡県経済の発展に寄与することを目的とする。

会員数 189団体・個人(2025年3月末現在)

会長 古宮 洋二 九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長執行役員

副会長 西高辻 信宏 太宰府天満宮 宮司
下川 まさのり 公益社団法人日本グラフィックデザイン協会 福岡地区代表

事務局 福岡県 商工部 スタートアップ推進課
〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7-7
Tel. 092-643-3449 Fax. 092-643-3226
E-mail: design-2@fida.jp URL: https://award.fida.jp



福岡デザインアワード2025受賞商品集

統括ディレクション: 太田 康之 (VIGORE Design) 編集・デザイン: 榎並 憲二 (シロクマ3) 取材・文: 植村 康子 (株式会社アポロデザイン)
撮影: 東 邑樹、藤川 隆史 (株式会社 ゼンフォトスタジオ)